

レポート



各常任委員会が所管する市の事務について行った所管事務調査を報告します。

市民福祉委員会

市民生活部、健康福祉部、こども家庭部の事務について調査研究しています。



▶京都府木津川市



「書かない窓口」および「幼保小の連携」について先進地視察
京都府木津川市の「書かない窓口」、大阪府箕面市の幼保施設と小学校の連携を調査した。
書かない窓口調査結果

京都府木津川市は市民の利用



▲大阪府箕面市

性向上や待ち時間縮減、職員負担軽減等を目的として「書かない窓口」を導入した。各種手続きの簡素化や、他課にわたる手続きの一元化等、市民にも好

幼保小の連携調査結果

市民サービスの向上、行政窓口業務の効率化、人的ミスの排除等導入効果は大きい。本市でもシステム導入は可能であり、前向きに検討すべきと考える。

委員会としての提言

みられた。
の利便性向上に取り組み姿勢が

的な体制のもとでの取り組みが望まれる。



は増加傾向で、幼児教育の喫緊の課題である。本市は、保育所と認定こども園はこども家庭部、幼稚園と小学校は教育委員会が所管しており、総合

委員会としての提言

問等を積極的に実施している。

評である。業務効率化で、新たな日常に対応した市民課窓口の実現や、処理時間の短縮および人件費の削減につながっている。今後は、国保、介護、福祉、学校等のライフイベント関連の連携のある部署に窓口システムを配置予定で、全庁的に市民の利便性向上に取り組み姿勢が

「書かない窓口」および「幼保小の連携」について先進地視察

総務文教委員会

総務部、経営企画部、教育部、会計課、監査事務局等の事務について調査研究しています。



防災体制の現状について調査

近年激甚化する自然災害に対応するため、市の現状を把握し、防災行政のあるべき姿を調査した。

調査結果

市は各種災害に備えて防災会議を設置し、地域防災計画を策定している。

地域防災推進員は地域の役員をサポートし、平時と災害時における地域防災活動を支援しているが役割は緩やかである。

ふくつ防災士会には約10名の防災士が所属している。防災教育などの支援を定期的に行って

いるが、人員数やフォロー体制などに課題がある。

過大規模校では火災想定でグラウンドに集まる訓練を実施しているが、訓練の方法などについては把握されていない。

新設校の指定避難所想定については、立地上や構造上の課題が解決できた場合に、指定避難所になると市は認識している。

委員会としての提言

現状は、行政や市民の災害への危機感や、そのための備えについての意識も十分に醸成しているとは言えないと考える。市

民に防災に対する啓発を今以上にを行うとともに、庁内においても各課や地域との連携を密に行うことが必要である。

防災士や地域防災推進員が地域の安全に寄与出来るよう、役割の明確化、また増員のために



▲宮司地区の防災訓練の様子

は資格取得補助が必要である。過大規模校や大規模校の防災に関して、訓練計画や報告を市が把握するべきである。もっと危機意識を持ち、積極的に関与する必要がある。



コラム 中学生が市長に提言!?

10/28 こども未来議会がありました



市内の中学生が福津市をより良いまちにするにはどうしたらよいかを調査、協議し、市長へ提言する福津市こども未来議会は、今回で5回目の開催となりました。産業や福祉、教育など様々な分野に対し、大人顔負けの鋭い指摘や中学生ならではの柔軟な発想による提言がありました。次世代の担い手が着実に育まれていることに頼もしさを感じました。

議会だよりふくつをお読みいただきありがとうございます。紙面に対する感想やご意見などがありましたら、声をお聞かせください。いただいた内容は今後の編集の参考とするほか、紙面で紹介する場合があります。なお、原則、直接回答は行っていませんのでご了承ください。

POST CARD

郵送する場合
お手数ですが
63円切手をお貼りください

811-3293
福津市役所
議会事務局 行

GFUKUTSU
議会だより ふくつ

2024. 冬 号

フリガナ 氏名 年齢 歳

住所 〒 -

電話番号 (紙面掲載時の確認の際に連絡します)

ペンネーム

委員会調査

建設環境委員会

市民共働部、経済産業部、都市整備部、農業委員会事務局の事務について調査研究しています。



空き家対策の現状と課題について調査

空き家は全国的に増加している。本市も増加しており、管理等に関する課題が発生している。市の空き家対策の現状と課題を調査した。

調査結果

空き家件数は令和3年度調査で529件と、前回調査より約150件増加した。そのうち301件は連絡が取れていない。適正管理されていない空き家数は増えてはいるが、今後は高齢化とともに空き家が今以上に増加していくと考えられる。空き家バンクは、過去3年間

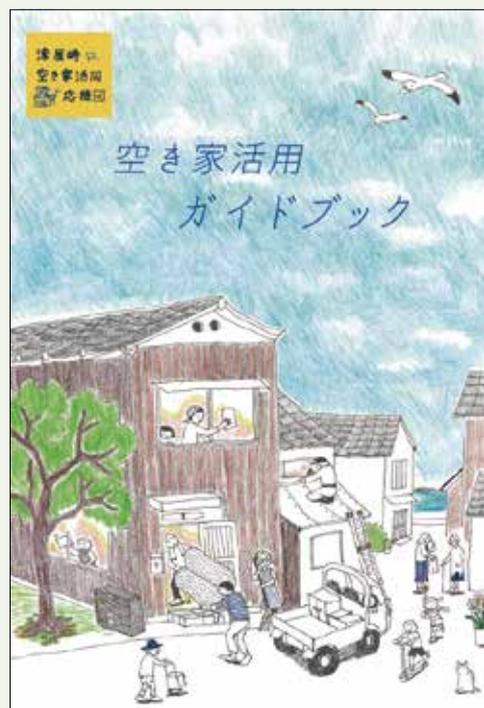
では、合計2件の登録数だった。登録の希望よりも利用したいという問い合わせが多く、手続きが煩雑で時間もかかることからマッチングに至っていない。この状況の解消のため、市は所有者に空き家活用応援や不動産業者の案内を行っている。

委員会からの提言

空き家が特定空き家に至らないよう、空き家の状況を的確に把握しておく必要がある。現状では把握した個々の空き家の情報を各種の計画に活用できるようにデータベース化を行

う等、情報の集約に向けた整備を検討することが必要である。所有者と連絡が取れない課題には、情報収集や対応の強化のため、担当だけでなく他課とも更なる協力体制を図り、連絡を取り合い、早期改善に向けて

進めていくことが重要である。空き家バンクの登録は関係団体や各部署と横断的な情報共有・連携を行い、窓口の一本化に向けた取り組みを一層促進することも重要である。



▲空き家が活用されることでまちは豊かになる

議会トピックス

閉会中の議会の動きを紹介します。

佐賀県小城市から議会広報委員会が来訪

10/26



小城市議会広報編集特別委員会が本市の議会だよりを視察するために来訪されました。視察では、市民参加型の議会広報の特集記事の紹介をはじめ、今までの表紙絵や特集、レイアウトなど議会だよりで工夫してきた取り組みをお伝えしました。その後は広報委員同士で活発な意見交換を行い、当委員会としても有意義な行政視察受け入れとなりました。

湾岸議会議長協議会議員研修会に参加

10/6



古賀市・新宮町・福津市の議会で構成する湾岸議会議長協議会研修会が本市で開催されました。地方議会が直面する課題について、地方自治法の改正を中心とした研修を行いました。



感想やご意見は、以下のはがきを切り取り、63円切手を貼って郵送するか、市役所、市図書館、津屋崎行政センター設置の意見箱に投函してください。なお、市議会ホームページからも提出できます。

きりとり

議会だより ふくつ

2024.冬号

特集 世界遺産への思い

Q1 今号でよかったと思う記事をご記入ください。

.....

Q2 改善してほしいと思う記事をご記入ください。

.....

Q3 紙面の感想やご意見があればご記入ください。

.....



議会だよりについて
の市民の皆様
の感想やご意見
を紹介します。

試行錯誤して頑張っている 感じが伝わってくる

全面カラーになってすごく見やすくなりました。特集が手厚くなって面白いです。特に74号で、議会の仕組みの説明に中学校の生徒会長を絡ませたのはよかったです。

今後の課題だと思いますが、デザインがごちゃごちゃやっています。特に75号の特集はどう読み進めてよいか分かり辛かったです。意味が分からない専門用語もあ

見やすくなったので
内容がもっと
分かりやすくなるとよい

表紙がガラッと変わったので目につくようになりました。

きりとり



議会の傍聴 中継・録画配信

議会を傍聴してみませんか。本会、予算・決算審査特別委員会は、中継と録画配信をしています。

また、生後5カ月～就学前までの託児サービスがあります。※要事前予約



次回の定例会

3月定例会

2月19日(月)開会

3月22日(金)閉会予定

請願陳情の受付締切2月7日(水)正午



議会の地位

住民を代表する公選の議員をもって構成される地方公共団体の意思決定機関です。

議会の二つの使命

- ① 地方公共団体の具体的政策を最終的に決定すること。
- ② 執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が、すべて適法かつ適切に、公平で効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視すること。

議員の職責

議会の二つの使命を完全に達成できるように懸命に努力すること。

編集後記

新年早々に起きた能登半島地震や航空機事故で、亡くなられた方々へ哀悼の意を表し、被災された方々へのお見舞いを申し上げます。

今回の特集では、世界遺産「新原・奴山古墳群」を取り上げました。

みんなで種まきをした菜の花がこれから咲き始めます。菜の花の花言葉は、「小さな幸せ」。多くの方の心に届き、一日も早い復興をお祈りいたします。(石田まなみ)

発行責任者 議長 高山 賢二

議会広報調査特別委員会

委員長 福井 崇郎

副委員長 中村 晶代

委員 中村 恵輔 井手口忠信

山本 祐平 石田まなみ



議会基本条例の研究のため、古賀市議会を視察



議会基本条例※制定検討特別委員会で古賀市議会を視察しました。古賀市議会は平成26年度に議会基本条例を制定しています。制定した経緯、制定後の現在抱えている課題、制定するにあたっての留意すべき点などの説明を受け、調査研究を行いました。

現在、当委員会では条文づくりを進めています。今回の視察をきっかけ、実用的な議会基本条例となるよう取り組みます。

※議会の基本理念や方針などを明文化した条例

今まで白黒だった写真もカラーで見やすくなりました。

以前から思っていたのですが、賛否表で改善してほしい点があります。議案名ではどのような内容かわからないものが多く、各議員がどんな議案に賛成や反対をしているかわかりません。議案名に備考を入れるなど、最低限のよう内容なのかわかる情報を入れてほしいです。自分で議案の自身を調べてまで確認する人はいないと思います。

(にゃんこさん/60歳代)

いつもは開いてすぐに閉じてしまうのですが、今回は初めてじっくり読みました。一般質問が各々の議員さんたちのさまざまな視点からの質問が並んでいて、とても読みやすく分かりやすかったです。

若い年代には文章は短い方が好まれると思うので、今後難しい議会の内容を、分かりやすく伝えてもらえたらと思います。

(柴山さん/40歳代)

方々が郷づくりの会長さんだと、特集の文章を読んで知りました。会長さんの意見や要望がたくさんあり、地域の課題が分かり勉強になりました。

カラーページが増えて冊子も閉じてあり、以前よりも綺麗になりましたね。今後も手取りやすい議会だよりになるよう期待します。

(中山さん/70歳代)



- ①2,000円
- ②佐賀県小城市
- ③5回目